



頻回にPTAを繰り返す症例における シャントマッサージの有用性

○重藤 涼介 寺尾 佳介 岡本 彩那 山平 満浩
松下 剛史 玉置 貴志 沖永 鉄治 吉田 賢治
藤井 恵子 頼岡徳在 高杉啓一郎



はじめに

PTAを施行する際、患者は身体及び精神的苦痛を伴う。2012年診療報酬改定によりPTAにおける診療報酬は3ヶ月に1度と制限が設けられた。動脈硬化や心房細動等で血栓が生じやすい場合や糖尿病、また高齢者に見られる血管自体が脆弱な場合ではPTAを施行せざるを得ないケースがあり、当院においても同様の症例を経験した。



目 的

シャントマッサージを行うことによりPTA施行間隔の延長が図れるか検討する。



対 象

	症例1	症例2
年齢	73歳	75歳
原疾患	糖尿病性腎症	糖尿病性腎症
透析歴	17年	5年
性別	女性	女性
透析方法	HD	I-HDF
透析時間	4時間	4時間
血流量	220ml/min	200ml/min
バスキュラーアクセス	AVF	AVF



方 法

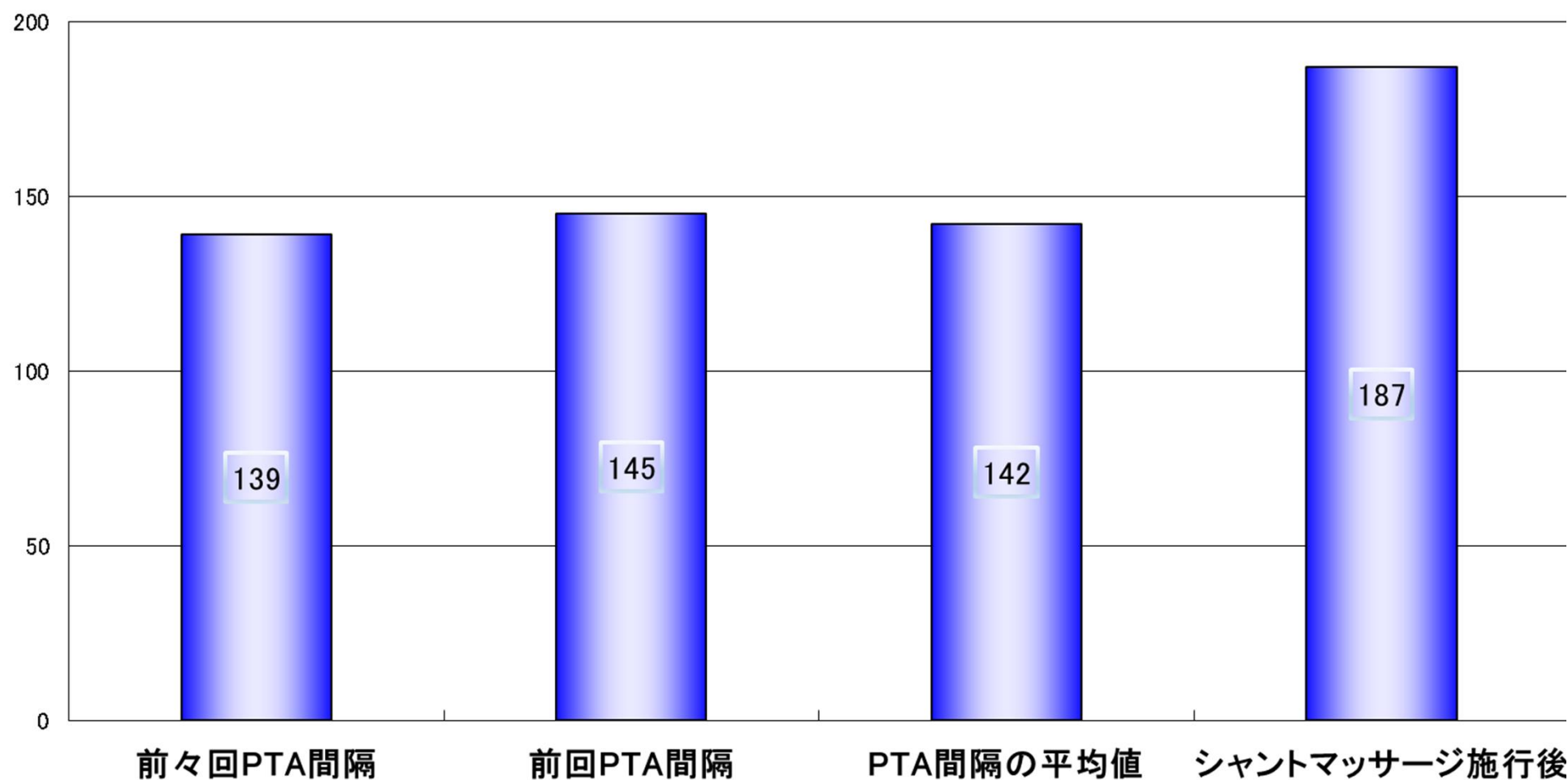
- 透析開始前毎に狭窄部の中枢側を駆血帯で軽く圧迫し、狭窄部より末梢側から狭窄部に向けて血液を流すように20回程度マッサージを行う。
- 力加減は止血の時と同等程度。
- マッサージ時の摩擦抵抗軽減の為エコーゼリーを用いる。





症例1結果

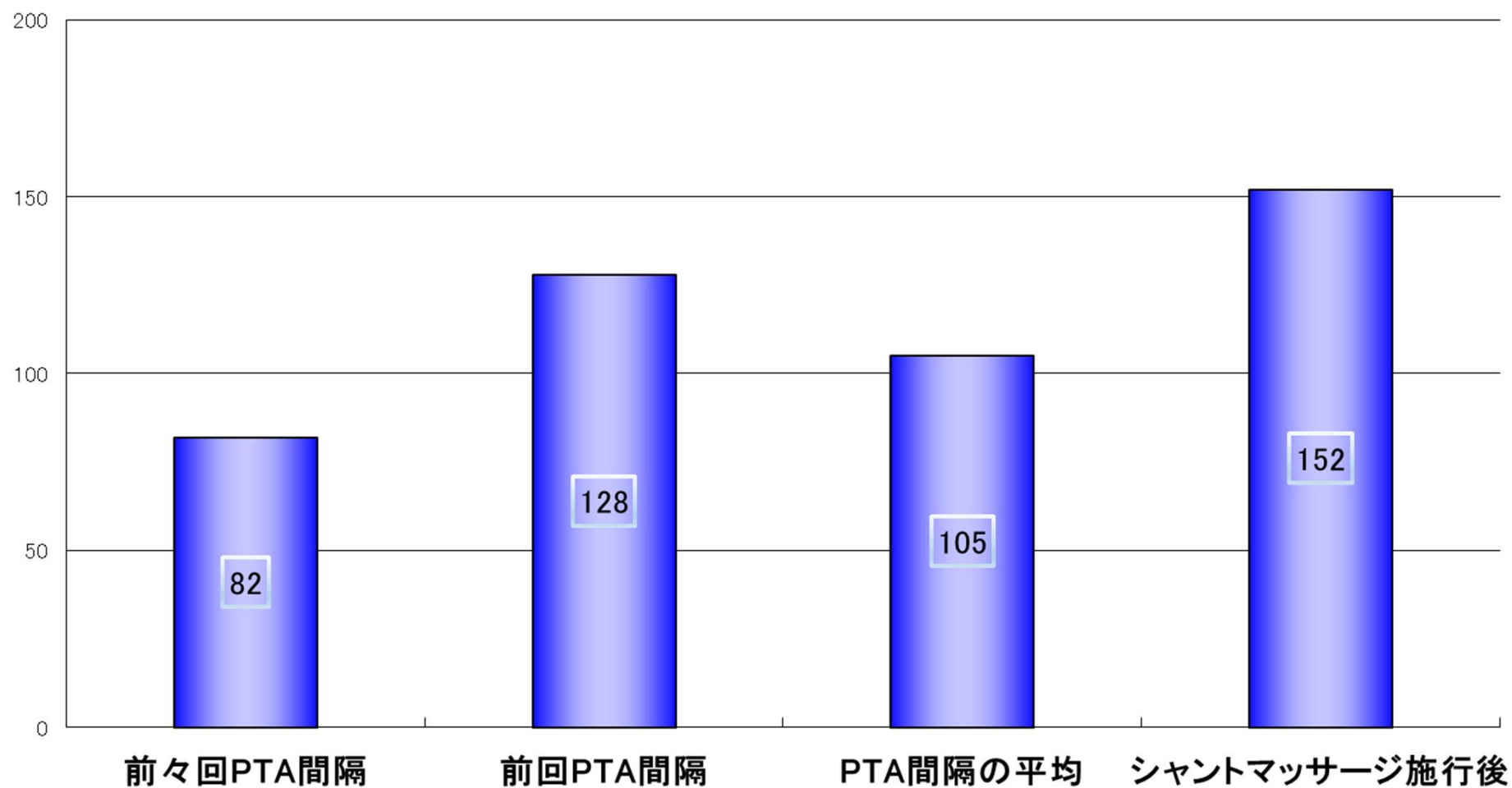
症例1)PTA施行間隔(日)





症例2結果

症例2)PTA施行間隔(日)





結果まとめ

	症例1	症例2
前々回PTA間隔	139日	82日
前回PTA間隔	145日	128日
PTA間隔の平均	142日	105日
シャントマッサージ施行後	187日	152日
延長期間	45日	47日

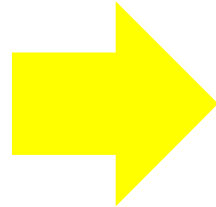
※PTA施行間隔の平均値はシャントマッサージ施行開始
前直近 3件のPTA施行間隔を基準とし計算した。



患者の声

PTAに抱くイメージ

- 痛い
- 怖い
- したくない



シャントマッサージ後の変化

- シャントの流れが良くなった気がする
- PTA期間が延長できて単純に嬉しい





考 察

- シャントマッサージの効果を患者視点で考えると、身体的効果と精神的効果に分けて考えることが出来る。
 - 身体的効果 透析効率の維持及びPTA施行時に伴う合併症リスクの低下
 - 精神的効果 PTA施行時に伴う精神的負担の減少
- 利点として以下のことも挙げられる。
 - 特段特別な機器を必要とせず、コストも不要、簡便に施行が可能
 - ⇒シャントマッサージは患者にとって有意義な可能性
がある。



結 語

シャントマッサージによりPTA施行間隔の延長
が期待できると考える。

**中国腎不全研究会
COI開示**

**筆頭発表者名
重藤 涼介**

**演題発表に関連し、
開示すべきCOI関係にある企業などはありません。**